

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	滲出型加齢黄斑変性に対する抗 VEGF 薬を使用した treat-and-extend 治療の有効性検証
研究責任者	聖隷浜松病院アイセンター アイセンター長 尾花 明
研究実施体制	【研究分担者】聖隷浜松病院アイセンター医師 朝岡亮、郷渡有子、石井香利、朝岡啓、中澤理沙、高柳佑士、松村徳和
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2026 年 3 月 31 日
対象者	2014 年 4 月から 2026 年 3 月までに聖隷浜松病院眼科で滲出型 AMD に対して抗 VEGF 薬を使用した treat-and-extend 治療を受けた患者さん
研究の意義・目的	我々は過去に抗 VEGF 薬のひとつであるアフリベルセプトを使用した treat-and-extend 治療成績を検討し、論文で報告しました。しかし、現在、出型加齢黄斑変性治療に対しては複数の抗 VEGF 薬が承認されていて、当科でも複数の薬剤を使用しています。そこで、本研究ではアフリベルセプト以外の薬剤の治療効果も同じように調査し、既報と比較することで、その薬剤の使用が妥当か否かを検討します。
研究の方法	【研究のデザイン】後向き観察研究 【方法】対象患者について、診療録から、矯正視力、OCTの中心窩網膜厚(CRT)、病巣の形態的变化、投与回数、副反応の有無を調べます。 【評価・解析方法】治療開始から経時的な視力変化と網膜の形態変化を調べます。また、治療期間内の注射回数も調べます。治療効果や治療回数をアフリベルセプトの成績と比較します。なお、解析に際しては被検者を匿名化した番号を使用することで個人情報情報の漏洩を防ぎます。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	研究結果が医学論文に公表されれば、その論文を閲覧いただくことができます。ただし、論文で結果が公表される前のデータ開示には応じることはできません。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院アイセンター (氏名)尾花 明 TEL:053-474-2222(代表) 眼科外来 9:00～17:00 平日